

宮田守男 フィールド風 (現場)からの

スキー場に降雪を期待する声が増しに高まっている。昔の「年末年始には」「クリスマススイブの1週間前には」の時代から、今で

は一日も早いスキー場のオープンを望む冬の基幹産業。地球温暖化で雪に期待できないとの声が増え、この時期に、他の誘客を誘う素材が育たないかと思ってしまう。

新型コロナウイルスによる感染拡大の影響も伴って新規国債発行額が100兆円突破との情報。2019年度末の累積発行残高が887兆円。健全化の旗振り役の財務省が「感染再拡大をどうやって乗り切っていく事が責任」と歳出抑制の心配が伝わってこない。多くの支援金は有難いのだ

かこの国債の負担が、今後の生活に大きく影響する事は事実だ。紙幣増刷による資産インフレと実体経済のほころびが露呈しない事を祈るばかりだ。

新型コロナによる感染拡大の影響も伴って新規国債発行額が100兆円突破との情報。2019年度末の累積発行残高が887兆円。健全化の旗振り役の財務省が「感染再拡大をどうやって乗り切っていく事が責任」と歳出抑制の心配が伝わってこない。多くの支援金は有難いのだ

け頼りないが、日本では誰も知っている、憎めない「のび太」。その「のび太」が「しずか」との結婚式をおぼあちゃんに見せる約束をしたが、タイムテレビで確認すると、結婚式当日、「青年のび太」はどこかへ逃げ去り、しまい連れ戻して結婚式まで。のび太のストーリー。新郎のび太の挨拶が心に残る「僕は、優しいに守られて育ちました。そしてお義父さん。いつか僕に、君は人の痛み分かる人

「自分を支えていてくれ」と思う人間関係が大切だ
に再び映画館に足を運んでもらう。をコンセプトに制作された「スタンドバイミー・ドラえもん2」を鑑賞する。ビジュアルは3DCG。懐かしい世界に引き込まれてしまった。テストで0点を取り続



12月上旬の松川河川敷内のサクラ。寒風の中でも花は心を温かにしてくれる

けないように かくつないだ 手を離さないから「さみしい夜を半分 僕に預けてほしい。さみしい日々は十分に 笑い合いたい。どんな言葉でも
足りないよな 君のぬくもりに触れたせいかな」なぜか見終わって口ずさむ優しさに包まれた時間だった。(信州地域社会フォーラム会員・白馬村森上)